



# ものづくり企業

NIPPURA株式会社  
住所 三木町井上3800-1  
設立 1969年 (従業員数) 約100人  
☎087-864-4111  
https://www.nippura.com/

臨場感たっぷりな、海の生き物たちのダイナミックな姿。水族館のクオリティを大きく左右する「水槽」の専門メーカーとして世界に名をはせる、香川のものづくり企業を紹介します。

## 香川の技術から生まれた世界初の大型アクリル水槽

創業者である先代社長の敷山哲洋さんは兵庫県出身。縁あって根を下ろした香川のあるメーカーで、アクリルをはじめとする合成樹脂を使った照明器具や看板などを手掛けていました。

転機は1969年、屋島山上水族館(現・新屋島水族館)の建設に伴い、「柱のない360度回遊式のアクリル水槽を作れないか」と打診を受けたことでした。当時はガラス水槽が一般的でしたが、哲洋さんは「アクリル素材の接着・成形技術を活用すればできる。これはリスクではなく(一)

飛躍のチャンスだと確信し、仕事を請け負うべく独立してNIPPURAを創業。世界でも前例のないプロジェクトに乗り出しました。

哲洋さんの理念は「自分の足元で見つけたヒントからもものづくりを考え、誰もやっていないことに挑むのが、オンリーワンへの近道」。大きくて分厚いアクリル板を正確にまっすぐ切るノウハウは、大型クレーン車の製造に使われる鉄鋼業の技術をヒントに、のこぎりの精度向上には、庵治石の加工技術を活用しています。香川が誇る技術を集約し、世界で初めて厚さ72ミリの大型アクリル水槽を完成させたことが、水槽メーカーとして世界トップシェアを築く同社の第一歩となりました。

## 機械化しない職人技

同社の手掛ける水槽は、沖縄美ら海水族館をはじめとする国内人気施設から、海外の大規模水族館・動物園まで、納入実績は世界60カ国を超えます。

同社の強みの一つは、大型アクリル板を精密に加工できること。特注品のアクリル原板を半製品の状態で仕入れ、社内でも表面を削り厚みを整えた上で製造工程に入ります。70枚以上張り合わせて厚みが3メートルになっても透明度が高く、パネルの向こう

# 香川から生まれた 世界オンリーワンの技術



チャイムロング横琴海洋王国(中国)にある水槽用のメインパネルは、幅39.6m×高さ8.3m×厚さ65cmの大きさ。2014年にギネス記録に認定された。



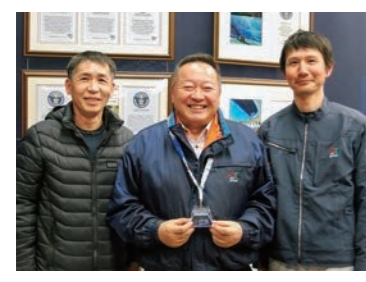
▲チャイムロング横琴海洋王国の巨大水槽(左中央写真)をさらに面白くしようとNIPPURAが提案した、世界初・直径12mの海中ドームトンネル。まるで海の中を歩くような気分、生き物たちの姿を間近に楽しめる



◀ドーム(上写真)用の巨大なアクリルパーツを製造する様子



西澤利高「色のない翼の彼方」 Photo: Shintaro Miyawaki 瀬戸内国際芸術祭2025では、同社のアクリルを活用した作品が展示された。



(左から) 着着担当20年のベテラン・福田倫貴さん、靖洋社長、メキシコの現場を終えたばかりの松森功典さん。「現場で施工を終えた時の顧客の歓声が一番うれしい」(福田さん)、「現地の職人と家族ぐるみで仲良くなれたのは一生の思い出」(松森さん)

香川マラソンの完走者に贈られるメダルは、同社のアクリル素材の「切り落とし」を活用。世界の人気水族館のパネルの一部だったかも?



**INFO**  
**企業の立地を促進しています!**

県では、本県への魅力ある企業の立地を一層推進し、新たな雇用の創出や地域経済の発展につなげていくため、各種の企業誘致施策をとりまとめたアクションプラン「せとうち企業誘致100プラン」を策定し、戦略的な企業誘致を進めています。

**「せとうち企業誘致100プラン」ホームページ**

アクションプランの内容のほか、

- ・本県独自の企業誘致助成制度
- ・税に関する優遇制度
- ・県内の産業用地情報

など、企業の皆さまの立地に有用な情報を発信しています。

**大規模データセンターの立地への支援**

令和7年度要件見直し

**対象施設**  
大規模データセンター

**支援内容**

(1) 要件 ①投下固定資産額 20億円以上 (50億円以上から緩和) ②新規常用雇用者数 5人以上

(2) 助成内容  
投下固定資産額の10%  
事務所賃借料、通信回線使用料の50%(5年間)  
通信機器賃借料の50%(5年間)  
対象支払電気料金の50%(5年間)  
6人目以降の新規常用雇用者数×50万円 (5年間、2年目以降は純増分のみ)

(3) 助成額上限 5億円

**問い合わせ先**  
企業立地推進課 ☎087-832-3354  
県HPページID 46564

せとうち100 企業誘致プラン

# 大迫力の水族館を支える「手仕事」

もう一つの強みは、アクリル板を設置する建設現場で巨大なパネルを組み立てて接着する施工技術。大型のアクリルパネルは、パーツごとに工場で作成し、施工現場で接着後に高温の熱処理を施して、高い強度と耐久性を生み出します。失敗の許されない一発勝負であるとともに、長く安全に使い続けられる強度の高さも欠かせません。「アクリル板を貼り合わせたり曲げたりするのは、化学反応を利用しますから、安定した品質を保つには、安定した作業環境が不可欠なんです」と、現社長の敷山靖洋さん。施工現場をすっぽり覆えるポータブルの仮設空間の設置技術を確認したことで、気温50度の砂漠からマイナス25度の寒冷地まで、同じ品質を保てるようになり、さらに市場が広がりました。

こうした高度な加工・施工力と、世界中の水族館や動物園の建設に企画構想段階から関わり育んだノウハウとネットワークが、「世界オンリーワンの信頼を支えています」。「社員にとっても、好奇心や冒険心を刺激する仕事だと思っています。今の私たちの技術で未来に向けてどんなことができるか、可能性を探っていききたい」と靖洋さん。県内では、27年春にリニューアルオープン予定の新屋島水族館で、同社が企画・製作した大型水槽が登場予定。「迫力ある展示を楽しんでほしい」と、意気込みを語ってくれました。

問い合わせ先  
(公財)かがわ産業支援財団 取引支援課  
☎087(868)9904



アクリルを鏡のように磨き上げる職人たちの技